

中国人民銀行の人民元売り為替予約に関する新規定に関して

中国人民銀行(中央銀行。以下 PBOC)は 2015 年 8 月 31 日付金融機関向け通知(銀發[2015]273 号)にて、「人民元売り外貨買い為替予約の慎重なマクロコントロールに関わる通知」(『中国人民銀行關於加強遠期售匯宏觀審慎管理的通知』)を公布した。

1. 通知要旨

1. 2015 年 10 月 15 日より、人民元売り予約業務を展開している金融機構(含む財務公司)は外貨リスク準備金(米ドル)を預けなければならない。外貨リスク準備金率は暫定で 20%とする。
2. 外貨リスク準備金の計算式は以下のとおりとする。
当月外貨リスク準備金 = 前月人民元売り予約契約額 × 外貨リスク準備金率
3. 中国人民銀行に預けた外貨リスク準備金の凍結期間は 1 年とし、1 年後に金融機関に返戻するものとする。
4. 外貨リスク準備金の付利は暫定的に 0%とする。

2. 外貨リスク準備金コストについての考察

発表された通知要旨、特に計算方法の主な注意点として、

- ① 準備金の対象は「約定日+3 日以上为人民元売り予約」のみ。直物人民元売り/買い、及び人民元買い予約については対象としないこと。
- ② 本年 10 月 15 日を第一回の準備金の預け入れ日としていることから、本年 9 月 1 日以降に契約した為替予約は全て算定の対象となること。
- ③ 準備金の幣種は米ドルに限り、人民元売り他通貨買い予約の場合は米ドルに換算すること。
- ④ 準備金は「未履行の為替予約残高」ではなく、当月の「契約額」をもとに計算されることから、期間に関わらず、約定日+3 日以上の為替予約は全て算定の対象となること。
- ⑤ 準備金はいったん預けると、為替予約の期間に関わらず 1 年凍結されること。

従って、仮に予約元本 100 米ドルで 1 ヶ月後の人民元ドル売り為替予約を銀行以外の顧客と契約した金融機関は、期間に関わらず、一律、「100 米ドル × 20% × 中国国内での金融機関米ドル 1 年もの調達金利」をコスト認識することになる(調達した米ドルを 0%の金利で預けることになるため)。

3. 所見

- ◇ 今回の PBOC の措置は 8 月 11 日の「中間値決定方式の改革」以後の直物市場での調整に留まらず、これまで比較的自由(値幅制限がない)であった先物市場への当局関与を深めるものであり、これまでの金融自由化の流れを歓迎していた国内金融機関には、相応の驚きをもって迎えられた模様。

- ◇ 国内株式市場での「空売り規制」同様の考え方が根底にあると思われるが、今回は実需を伴う予約をも対象としており、しかも人民元売りサイドのみを抑制する、という片方向のみの規制となっている。PBOCの人民元/米ドルレートのコントロール強化は新たな局面を迎えている。

以上

作成 : 三菱東京 UFJ 銀行(中国)有限公司 環球金融市場部 021-6888-1666 ex) 2910~2918

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。当資料は信頼できる情報に基づき作成したのですが、その正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料は使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。尚、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮下さい。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。